

# 安全・安心なまちづくりを

北島 一雄 議員

## 答 防犯カメラの設置を検討

まちづくり推進協議会の構成が他市町村と多少変わっている。機能化するような方向で見直しを考えている。

**問** 羽犬塚駅駐輪場では隣に羽犬塚駅交番があり、防犯を呼びかける看板も設置しているが、自転車・バイク盗の発生件数は昨年も届出件数だけでも39件と非常に多い。筑後市が所有や管理してい

る施設などに防犯カメラの設置を検討したことがあるのか。

**市長** 防犯カメラの設置は、市民の大きな安全・安心につながるものと考えている。どこにでもというわけにはいかないが、効果も期待できるので、一番効果の上がる場所をきめて、設置に向けた検討をぜひしていきたい。

**問** 筑後市では平成22年に「筑後市安全・安心まちづくり条例」が施行されたが、刑法犯の認知件数は増加している。管轄する警察署と常に緊密な連携が図られているのか。また防犯組織の構成が分かり難い。



柳川市の例

## 「柔道」の安全には万全を

弥吉 治一郎 議員

**答** 補助教員配置など安全確保に努める

**問** 中学校の体育授業で柔道が必修となった。羽犬塚中と筑後北中は床の下に緩衝材を入れた専用

床の構造が劣る状況だ。当面の安全対策として、畳の下に衝撃緩和のためのクッションと滑り止めを行う。

の道場があるが、筑後中にはない。柔道の授業は今後何十年も続く。当面、畳の下に緩衝マットを敷くなどして、畳のずれを

**市長** 筑後中に柔道場を建設することについては、学校の意見を踏まえ、教育委員会の検討を受け、協議する。

**学校教育課長** 筑後中は

**教育長** 安全確保のため補助教員もつける。

**赤字バス路線への補助は再考を**

乗客0の柳川行きのバス

**問** 新幹線船小屋駅から柳川行きバスなどに1,750万円もの税金が補助されている。1便あたり乗客は0・8人、補助は廃止すべきでは。

**市長** 利用者の増加と赤字が減るよう取り組む。

**商工観光課長** コミュニティバスなど、効率的な組み合わせも検討する。